

地域で活動する人やこれから活動をはじめようとする人を応援する広報紙「つながる ひろがる」。
今年度は、地域で活動を始めて間もない方の事例を中心に、活動の様子や活動が始めるまでの経緯、参考になる情報を紹介していきます。第2号は、メンバー同士楽しみながら朗読を行っている団体を紹介します。

外郎会

うい ろう かい

根岸
地区

「あ・え・い・う・え・お・あ・お！」根岸地域ケアプラザの一室から元気な声が聞こえてきます。

外郎会のメンバーが朗読の前に滑舌訓練をしているようです。外郎会では月に2回、ケアプラザにてメンバー同士で朗読会を実施しています。

この日は「どろぼう学校」という童話に始まり、いくつかの作品を皆さんで練習していました。

「この役はせっかくだから〇〇さんやってみましょうよ！」「この台詞の言い回しはもっとこう・・・」
コーヒープレイクを挟みながら、皆さん和気あいあいと楽しみながら朗読をしています。

外郎会結成から約1年。メンバー間での朗読に留まらず、ケアプラザのデイサービスでの発表や、保育園での読み聞かせなど活動の幅はますます広がっているようです。



地域ケアプラザでの朗読劇

スケジュールの一例

11月〇日(火) @地域ケアプラザ

メンバー同士お茶を飲みながら楽しく朗読会

12月×日(月) @保育園

園児へ絵本の読み聞かせのクリスマスプレゼント

12月△日(土) @他区の地域ケアプラザ

利用者さんたちとの忘年会?!

ゲームを交えた楽しい朗読会

外郎会代表の荒木さんに活動を立ち上げたきっかけや活動内容について伺いました。

*退職をきっかけに「地域のつながり」を意識するように



外郎会代表
荒木さん

ずっと続けていた仕事を退職して、「これから何をしようかな」と考えました。
これまでは地域と関わりを持つことも無かったですし、地域の人を知らないことに不安を感じたこともありませんでしたが、「地域とのつながりは大事なのではないか、地域を知らないといけないな。」と思ったんです。

*地域への第1歩 🚶‍♀️ 地域ケアプラザの講座へ参加

「自分でもできることはないか」と根岸地域ケアプラザへ足を運びました。そこでケアプラザ主催の朗読講座を知り参加してみることに。この時は講座に参加するだけで、会を立ち上げるつもりはありませんでしたが、この講座で外郎会立ち上げメンバーと出会いました。

*外郎会立ち上げ

朗読講座を修了後、地域ケアプラザの職員さんに「これで終わるのはもったいない」と背中を押されたことや、講座とあわせて退職後に参加した「いそご地域づくり塾」にて“居場所づくり”について学んだこともあり、**大がかりな物は大変だけど、何人かの仲間ならやっていけるのではないかな。**会として立ち上げてみようかな。と思いました。

活動を始めたことがきっかけで様々な相乗効果があったようです。

* 会としての活動の広がっています

地域ケアプラザでの朗読劇や認知症講座での朗読寸劇、さらにはメンバーの繋がりをきっかけに他区ケアプラザで朗読劇を開催したり、保育園で絵本や紙芝居の読み聞かせを行うなど日々充実しています！

立ち上げ
後の変化

外郎会的一幕 ～保育園での読み聞かせ～

読み聞かせが始まると、子どもたちはすぐに物語に聞き入りました。歌を歌う場面では、一緒に声を合わせ 歌い、物語の展開に「なんで～？」と疑問を持ったり、「きっとこうなるんだよ」と予想をしたりと子どもたちの反応はとても素直です。3つの物語を集中を切らすことなく聞いてくれる様子に、外郎会の皆さんも子どもたちへの読み聞かせを楽しんでいることが伝わってきました。



* メンバーの声 ～朗読って楽しい！～

- * 普段大きな声を出すことが無いので、声を出すことはとても良いことだと思いました。
- * 言葉がはっきりしゃべれる様になりました！
- * 小説の様に文字で伝えることは出来ないし、映画の様に映像で伝えることもできない。声だけで伝えるって難しいけれど、それがやりがいに繋がります！



* 地域とのつながりが生まれました

活動を初めてから地域に知り合いが増えました。外に出ると、知っている人に出会わない日はありません。

また、外郎会を立ち上げてつながりが生まれたことで、地域での活動に広がりが出てきました。今では、地区の防災訓練に参加したり、ハンドベル演奏会のメンバーになったり、ケアプラザでパソコンを教えたりしています。

何かあったとき、地域に話しができる人がいるというのは大事な事だとつくづく思います。

メンバー
募集中です！



会の目的は、上手になるのはもちろんですが、皆で声を出して脳を活性化させ元気になるというもの。その結果朗読も上手になって、色々な場面で活動できれば良いなと思っています。

「規模の大きい活動でなくても、自分の出来る範囲の中で地域の皆で楽しめるものがあれば・・・」というのが荒木さんが会を立ち上げた時の想いです。

そして、会立ち上げへとつながった一因は荒木さんの行動力はもちろん、地域ケアプラザに相談したことも大きく、その後の活動の広がりにもそのつながりが活かされています。「何か自分にできることはないか。とりあえず楽しんで参加できるイベントはないかな。」と思ったら地域ケアプラザのほか、磯子区社会福祉協議会、区民活動支援センターに相談してみると、思わぬ活動につながっていくかもしれません。

「いそご地域づくり塾」の特集も掲載中！これまで発行した「つながる ひろがる」は区HPに掲載中です。

区HPで「つながる ひろがる」を検索！

●発行月 平成31年1月

●発行元 磯子区役所区政推進課 地域力推進担当 TEL:045-750-2398、FAX:045-750-2533

地域
活動
の

め芽

